

2023年12月4日

各 位

上場会社名 東洋建設株式会社
代 表 者 代表取締役社長 大林 東壽
(コード番号 1890 東証プライム)
問合せ先責任者 管理本部総務部長 時水 久
T E L 03-6361-5450

**(開示事項の経過) 合同会社 Yamauchi-No. 10 Family Office 及び株式会社 KITE からの
提案に関する進捗状況に関するお知らせ**

2023年9月27日付け当社プレスリリース「特別委員会設置に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、当社は、合同会社Yamauchi-No. 10 Family Office (以下「YF0」といいます。) 及び株式会社KITE (以下、YF0とあわせて「YF0ら」といいます。) より受領した、当社の普通株式に対する公開買付け及びその後のスクイーズアウト手続による当社の完全子会社化に関する提案 (以下「本提案」といいます。) を巡る検討において、当社の意思決定の恣意性を排除し、意思決定過程の公正性、透明性及び客観性を確保することを目的として、当社の独立社外取締役によって構成される特別委員会 (以下「本特別委員会」といいます。) を同日付けで設置し、本特別委員会は、当社取締役会からの諮問事項についての検討を引き続き進めております。

その経過として、2023年10月4日付け当社プレスリリース「(開示事項の経過) 合同会社 Yamauchi-No. 10 Family Office 及び株式会社 KITE からの提案に関する特別委員会からの一次答申書の受領及び今後の対応方針に関するお知らせ」(以下「2023年10月4日付けリリース」といいます。) にてお知らせしたとおり、当社は、本特別委員会の一次答申を踏まえ、本特別委員会により提示された事項にYF0らが同意することを条件に、YF0らによる本提案に係るビジネス・デュー・デリジェンス (当社の企業価値向上策の深化 (定量的に評価可能な程度の具体化) に資する事業のデュー・デリジェンスのことをいいます。以下も同じです。) に対応することとし、YF0らに対し、ビジネス・デュー・デリジェンス実施後、2023年11月10日までに、YF0らが掲げるビジネスモデルに関する具体策を前提に精緻化された企業価値向上策 (精緻化された企業価値向上策とは、少なくとも、①当該企業価値向上策を反映した当社の事業計画 (プロフォーマBS/PLを含みます。)、②設備投資・M&A投資等の投資計画、③買収資金の返済計画、④当社の既存事業への悪影響抑止のための方策を備えたものを意味し、公開買付価格を引き上げる場合には引き上げ後の価格を含みます。) を提出することを要請する通知を行いました。

その後、当社は、本特別委員会の意見も踏まえつつ、YF0らによる本提案に係るビジネス・デュー・デリジェンスに協力してまいりました。

これに対し、2023年11月14日付け当社プレスリリース「(開示事項の経過) 合同会社 Yamauchi-No.10 Family Office及び株式会社KITEからの提案に関する検討の進捗状況に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、YF0からは精緻化された企業価値向上策の提出期限について延長要請を受けておりましたが、当社は、2023年11月30日及び同年12月1日付で、YF0らより企業価値向上策を受領しましたので、お知らせいたします。なお、受領した企業価値向上策の内容については、YF0らより開示・公表しないよう要請がありましたので、YF0らと締結している守秘義務契約に基づき、開示を控えさせていただきます。

当社は、本特別委員会の意見を踏まえた上で、YF0らより提出された企業価値向上策について検討を行います。本特別委員会における今後の検討スケジュールは、2023年10月4日付けリリースにてお知らせしたのから現時点で変更はございませんが、今後、本提案について開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上